

第4期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

会議名	第4期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会
日時	平成22年10月20日(水) 午後1時30分から3時
場所	宇治市生涯学習センター 2階 一般研修室
出席者	(委員) 森川 知史 委員長、杉本 厚夫 委員長職務代理、奥西 隆三 委員、門脇 洋子 委員、迫 きよみ 委員、向山 ひろ子 委員、弓指 義弘 委員、渡辺 孝明 委員、坂田 耕作 委員、清水 桂子 委員、竹之下 典祥 委員、原 保彦 委員、古川 彩 委員、俣野 良子 委員、吉田 隆 委員、六嶋 由美子 委員
	(事務局) 澤畑 信広 教育部次長兼生涯学習センター所長、安達 昌子 生涯学習課主幹、久泉 昭人 生涯学習課主幹、原 常能 生涯学習課生涯スポーツ係長、上野 映子 生涯学習課生涯学習係長、谷 泰明 生涯学習課事業係長、森 敦子 生涯学習課主査、佐野 雅俊 生涯学習課主事
	(傍聴者) なし
<p>・前回の会議録について、委員からの意見が特になかったため、公開することとなった。</p> <p>開会のあいさつ (委員長) 現在放送されている朝の連続テレビ小説で、同じ家にいながら家族と一緒に食事を摂らないという場面があり、それを主人公がつなぎ合わせようとしている姿を見て、いかにも今の時代を表しているようだった。</p> <p>(1) 報告事項 ・平成22年度近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会)について (委員) 全体会は内容が難しかった。社会教育委員の理念というものを考えさせられた。</p> <p>(委員)</p>	

第4期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

公民館に対する行政のかかわり方が財政面においても、他の市町村とは異なっていた。宇治市においても、今後高齢化問題が進んでいくので、新たに公民館を建設する場合には、デイサービスを備えた設備や災害が起きた際の避難場所として、しっかりとした造りにしてもらいたい。

(委員)

今後、社会教育者として学校とより密接に関わっていかなければならない。また、今団体の中で中心に動いている方々の後ろにいる人達を育てていかなければならない。

(委員)

講演の中で、世界の社会教育の一部を知ることができ、大変勉強になった。

(委員)

他市町村の取り組みの紹介を行う分科会などでは、自分達の取り組みだけではなく、できないことや問題点なども踏まえて正直に答えていくべきだ。

(委員)

分科会は、自慢話ではなく、問題解決型にしていくべきだ。

(委員長)

来年度の全国大会に向けて頑張っていきたい。

(事務局)

・第20回紫式部市民文化賞について、及び紫式部文学賞・紫式部市民文化賞20周年

記念誌について

- ・第28回市民スポーツまつりについて
- ・歴史資料館特別展について
- ・その他
- 中学生の主張大会について

(2) 協議事項

- ・平成23年度予算（社会教育関係団体補助金）

(事務局)

現在、1次分（事務的経費）について、財務課の担当者とのヒアリングを行っており、その後2次分（政策的経費）を経て、2月初旬に市長査定において決定する。

- ・宇治市の財政状況について
- ・今後の財政運営の基本的な考え方
- ・第5次総合計画における予算編成

第4期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

- ・平成23年度予算編成
- ・教育費に占める社会教育費の割合
平成22年度の教育費は平成21年度に比べ、54.9%増となり、その中でも特に、社会教育費は144.1%の増である。その増加原因は、宇治川太閤堤跡用地取得事業費であり、社会教育費の大きな部分を押し上げている。
- ・社会体育費について
(事務局)
方向性としては、平成21年3月に策定された「スポーツ振興計画」に基づき、市の既存の事業を計画に沿うように、再点検・再構成を引き続き行ってまいりたい。具体的には、①イベント型から継続型への転換②情報収集・情報提供の強化③教室等の種目数の増加④教室や大会等に係わる料金について⑤スポーツ賞について、などこの5つを柱として取り組んでまいりたい。①に関しては、大会等の一時のイベントよりも教室等の継続的な取り組みに重点を置いて取り組んでいくこと。②に関しては、市のスポーツでつくったきっかけを他のスポーツサークル(体育館の自主事業・総合型スポーツクラブ等)につなげていけるように、様々な情報収集を行い、他のエリアで活動されている方へ、その情報を提供していくこと。③に関しては、スポーツの種目数を増やし、スポーツをされる方のきっかけを増やしていくこと。④に関しては、基本的に教室・広場は無償で行い、大会などへの参加に関しては有料化していくこと。⑤に関しては、前回もご意見をいただいたが、単に競技志向であるだけでなく、地域スポーツ・生涯スポーツへの振興に係わる功勞に対する表彰であることをより鮮明にするような内容にすること。
また、大きくはこの5つを進めていく予定だが、その他京都サンガFCとの共同事業や東宇治スポーツクラブ・京都文教大学・京都文教短期大学の開放型地域スポーツクラブ等々への支援などに力を入れてまいりたい。
- ・公民館費・生涯学習センター運営費について
(事務局)
中央公民館活動費については、鳳凰大学を行っている関係で他の公民館より活動費が高くなっている。木幡公民館に関しては外壁の塗り替え、小倉公民館は屋根の葺き替え工事をそれぞれ行った。また、宇治公民館管理運営費については、市民会館が管理しているが、一般財源の金額については人件費や印刷費などである。
生涯学習センター運営費については、前年、公共下水道の整備を行った関係から前年度より低くなっている。
- ・歴史資料館運営費について
(事務局)
特徴的なものとしては、現在学校教育の総合的な学習の時間の中に、「宇治学」を取り入れており、歴史資料館から出前講座を行っているの

第4期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

で、こういった活動を中心に進めてまいりたい。

- ・図書館運営費について

(事務局)

中央図書館・東宇治図書館・西宇治図書館の3館体制で行っており、蔵書の関係から予算額は昨年と同額を確保していきたい。

- ・総合野外活動センター運営費

(事務局)

生涯学習の分野において、中核の施設ということで、特に来年度の公益財団法人化や指定管理の公募関係もあるので、今後より一層総合野外活動センターとの連携を図っていきたい。

- ・源氏物語ミュージアム運営費について

(事務局)

歴史資料館と同様に、源氏物語ミュージアムを生かした「宇治学」の取り組みを来年度進めてまいりたい。また、今年度実施していただいた六嶋由美子さんによる取り組みを核として、子ども達に分かりやすく源氏物語を知ってもらいたい。

(委員)

(生涯スポーツに関して) イベント型から継続型へ転換するとおっしゃったが、現在使っている場所に新たに教室などが入ってくるとなると、他の市民の施設利用が難しくなると思うが、この問題に対する配慮はあるのか？

(事務局)

曜日や時間帯にもよるので、他の利用者との調整を図りながら進めていきたい。

(委員)

競技スポーツと教室等がかぶった場合はどちらを優先するのか？

(事務局)

そこまでの狙いを考えておらず、難しい問題ではあるが、そうならないように、市立の学校など利用できそうな施設と交渉を進めている段階である。

(事務局)

現在、黄檗公園の再整備を進めている。黄檗球場に夜間照明を設置する案もあがっており、この案を進めていくと夜間も使用していただくことができるので、市民の運動機会や場所の提供につながる。

(委員)

第4期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

場所・時間・持ち物など、宇治市の呼びかけで参加した市民の方へのお知らせやサポートをしっかりとしてもらいたい。

(委員)

スポーツのサークル団体を選択する上で、自分の年齢や特性などを考慮し、どこが適しているかなどコーディネートしてもらえないのか？

(事務局)

東宇治スポーツクラブでは18種目の教室があり、参加者の方々は和気あいあいとしてらっしゃるので、是非ご相談していただきたい。

(委員)

スポーツ振興計画について、全然形として見えてこないが。

(事務局)

スポーツ振興計画は、スポーツの憲法として位置づけている。計画としては、スポーツのトータルとしての取り組みなので、すぐに結果として出てこないのが現状である。

(委員)

P D C A サイクル (Plan:Do:Check:Action) の C をしっかりと行わないと次につながらない。計画自体をチェックし評価する機会を設けていく必要がある。

(委員)

(最近の円高を受けて) 宇治市の計画が、企業1社の景気に左右されることは非常に問題である。今後どういう方法をとったら良いか検討していかなければならない。

(委員)

公民館等については、新しい事業を行っていく予定だが、他に関しては例年どおり事業を進めるのか？

(事務局)

第1次子どもの読書活動推進計画が来年度末で満了するので、来年度はその改訂作業を行っていく予定である。この五年間の計画で、学校図書館司書の増加や公立図書館との連携を行ってきたので、次計画についても子どもの読書活動の充実を図る取り組みを行っていききたい。

(委員)

これからは、公募制で予算を組んでいくことも考えていかななくてはならないではないか？

既存の団体に補助金を出すだけでなく、新しい団体に対しても支援をしていかなければ、新しい団体の育成に影響を及ぼしてしまう。

第4期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

(事務局)

昔、市民企画を募り、団体に対して助成金を出していたが、現在では行っていない。その代わりに、市民活動サポート事業として、10団体に対して1年間会場を提供している。これは、4月のはじめに募集し、5月の中旬に団体を決定している。

(委員)

今後、団体と行政がもっと対等に、仕事のパートナーとしての付き合いができればよいが。

(2) コミュニケーションについて

(委員長)

アンケートについて、皆さんから出していただいたものをまとめたので、この方向でアンケートを実施していただきたい。提出していただいたアンケートの内容について、委員から説明していただきたい。

※各委員よりアンケートの内容について説明

(委員長)

それぞれ自分の所属している団体で確認していただきたい点と、地域との係わりについてもどこかの項目で聞いていきたい。

あと、一般的な項目に関しては、次回具体的に提示させていただくので、次回までに思いつかれたものについては、また連絡いただきたい。

(3) その他 (事務局)

- ・平成22年度京都府社会教育研究大会について
＜平成22年11月26日(金)＞

＜次回の会議について＞

平成22年12月17日(金) 午後3時30分から
場所：生涯学習センター 2階 一般研修室